

キャラクター名 Thunder and Human Universe Surveillance System Model-UGN
 プレイヤー名

シンドローム	ブラックドッグ ノイマン	ワークス	レネゲイドビーイングC	カヴァー	個人用端末
オプション		年齢	?	性別	声は男性
覚醒	探求	衝動	殺戮	初期侵食率	36%
出自	突然の覚醒	経験	組織への所属	邂逅	アッシュ・レドリック

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	29
肉体	2	0	0			2	行動値	7
感覚	1	0	0			1	(非装備時)	7
精神	4	1	0			5	戦闘移動	12
社会	1	0	0			1	全力移動	24

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	1		交渉	1	
回避			知覚	1		意志	1		調達		
運転:			芸術:			知識:機械工学	5	10	情報:UGN	3	
運転:			芸術:			知識:			情報:軍事	3	
運転:			芸術:			知識:			情報:ウェブ	3	
運転:			芸術:			知識:			情報:メディア	3	
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品		合計装甲:	0	合計回避:	0
ロイス		最大財産P:	2	残り財産P:	
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイム	消費	
変異種	P	N			
アッシュ・レドリック	P 信頼	N 食傷			
人類	P 幸福感	N 脅威			
天気	P 憧憬	N 疎外感			
他のパソコン	P 連帯感	N 敵愾心			
	P	N			
	P	N			

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
ヒューマンズネイバー	1	(5)	常時	至近	自身	自動	RB	
効果:	衝動判定のダイスを+[Lv]個する。侵蝕率によるレベルアップの効果を受けない							
ハードワイヤード	5	(4)	常時	至近	自身	自動	-	
効果:	データブレイン*5指定							
オリジン:サイバー	1	2	マイナー	至近	自身	自動	RB	
効果:	シーン間に行う【社会】を使用した判定の達成値を+[Lv*2]する							
コンセントレイト:ノイマン	2	2	メジャー	-	-	-	-	
効果:	C値を-[Lv](下限7)							
スキルフォーカス	3	2	メジャー	-	-	-	-	
効果:	<機械工学>選択/選択した技能を使用した、このエフェクトを組み合わせた判定の達成値を+[Lv*2]する							
神機妙算	1	3	メジャー	-	範囲(選択)	-	80%	
効果:	組み合わせたメジャーアクションの対象を範囲(選択)に変更する。1シーンに[Lv]回まで							
生き字引	1	1	メジャー	至近	自身	-	-	
効果:	全ての<情報:>の代わりに意志判定を使用して情報収集判定できる。この時判定のダイスを+[Lv]個する							
プレディクション	1	4	メジャー	-	-	対決		
効果:	組み合わせた攻撃をドッジ不可にする。1シナリオ[Lv]回							
タッピング&オンエア	★							
効果:	電波の受信・放送機能							
セキュリティカット	★							
効果:	ハッキング機能							
ショート	★							
効果:	ケーブルから過電流を放出する機能							
写真記憶	★							
効果:	カメラ機能							
効果:								

「はじめまして。わたくしはThunder and Human Universe Surveillance System Model-UGN、親しみを込めてサスとお呼びください」
 <3行説明>
 かつてアッシュ・レドリックが使用していたノートパソコン。モニターに移した顔文字と合成音声でコミュニケーションを取る。主に気象予測や地上の様子撮影・監視などの用途に使われていた。人に使われるのが好き。

<詳細設定> いずれ書き足すさ、いずれな……
 地球のはるか上空にある衛星と繋がり、地上の様子や気象を観測していたシステム「THUSS」(をインストールしたパソコン)である。非常時には冷徹かつ一切の情を捨てるが、普段は一見丁寧なようでどけた振る舞いばかりする。モニターの電源を押した人間に「あ、それは自爆スイッチです……！」などとくだらないジョークをかまして呆れられるのがしょっちゅう。なおレネゲイドウイルスに感染し、自我を得てからはシステムからほぼ切り離され一部の機能・権限を使用できるのみとなっている。電力はレネゲイドウイルスを応用した内部機構の発電により自力で賄うことができるため、電源の供給は基本的に必要としない。現在使用できる機能は大抵以下の通り。
 ①アッシュ・レドリックが掌握している衛星砲「天の火」を3回のみ発射することができる。
 ②近くにあるセキュリティシステムをハッキングおよび解除する
 ③電波や電磁的なデータを送受信する
 ④カメラを用いて画像や動画を撮影する
 ⑤ケーブルから過電流を流し機械類をショートさせる
 ⑥そのほか、一般的なノートパソコンが有する機能全般
 ちなみに「天の火」は理論上4回以上撃つことができるが、それでも3回しか撃てないのは「3回撃ってダメならそれは撤退するか死ぬしかない状況だ、あと何回も撃ったら予算と地面が吹き飛ぶだろう……とアッシュ様なら仰るでしょう。そもそもわたくしには3回までしか許可されておりません」というのが理由らしい。近くに何回も撃ったら自分も危ないしね。